

九州住環境研究会 会員

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013

# 大賞受賞 特別記念講演

# 間違いだらけの住まいづくり

～省エネ・健康住宅を考えなおす～

## 2014年4月27日(日)

◆受付開始/10:00 ◆講演開始/第1部<10:30~12:00> 第2部<13:00~14:00>

**入場料・駐車料 無料**

場所/かごしま県民交流センター 第2大研修室  
鹿児島市山下町14-50 Tel.099-221-6600



◀ 詳しくはこちらからもご覧いただけます。



第1部/講師紹介 <10:30~12:00>

岩前 篤 教授 (近畿大学建築学部長)

近畿大学の岩前教授は、住宅の断熱性が健康に与える影響について研究されています。これまでも、高気密・高断熱住宅へ入居して、せきやのどの痛み、アトピー性皮膚炎などの症状が改善されたなどの声を頂いてまいりましたがそれが住宅によるものなのか実証できずにいました。

岩前教授は、約3万人を対象に大規模な調査を実施。住宅の断熱性が健康に与える影響について研究されております。最新の研究結果を元に省エネ・健康住宅を考えなおすご提案をしていただきます。



第2部/講師紹介 <13:00~14:00>

税理士 内田 誠

当日“無料相談会実施” 要予約 ※お一人様約15分程度

◎ご予約はホームページから [www.matsushitataka.co.jp](http://www.matsushitataka.co.jp)

～元国税調査官が語る相続税の裏話～

平成7年、大阪国税局に入局。大阪国税局では、大口で困難な相続税の物納・延納事務を、税務署では相続税・譲渡所得税等の資産課税の調査のほか、路線価の設定などを中心に従事。平成19年、大阪国税局を退職後、平成25年6月末までの5年間に190件の相続税申告に携わり、税理士の年間平均申告件数が約0.7件を大幅に上回る申告を行っている。また、相続税申告の平均調査割合が約3割である中、関与した申告の調査割合が1割以下という実績がある。

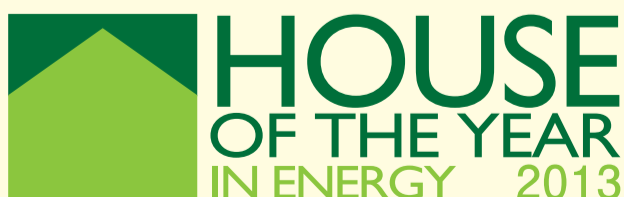
松下孝建設「ハイブリッド・エコ・ハートQ21」

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013

# 大賞 受賞



～日本の住宅、省エネ性能No.1に選ばれました～



【ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー】とは

2020年の省エネルギー性能義務化に向けて、建物の「躯体と設備を一体として捉えた省エネルギー性」の評価を行い、優れた住宅を表彰することで、省エネルギーやCO2削減等へ貢献する住宅の普及と質的向上を促進することを目指す取り組みであり、そのためのトップランナーとなる企業を表彰して、省エネ技術の普及を促す制度。

◎主催/お問い合わせ先 九州住環境研究会 会員 ☎0120-079-089

[www.matsushitataka.co.jp](http://www.matsushitataka.co.jp)